

袋井市教育委員会 会議録（要旨）

会 議 名	令和3年4月 袋井市教育委員会 定例会
招集日時	令和3年4月27日(火)午前9時00分
会議時間	午前9時00分から午前11時00分まで（2時間00分）
場 所	教育会館3階 ICT研修室
出 席 者	鈴木一吉 教育長 上原富夫 委員 瀬川香織 委員 鈴木万里子 委員 (計：4人)
欠 席 者	大谷純應 委員
傍 聴 者	無し
当局出席者	城内 優 教育部長 山本裕祥 教育監 長谷川修一 教育企画課長 小鷹義晴 おいしい給食課長 大庭英男 すこやか子ども課長 加藤邦夫 育ちの森所長 神田明治 学校教育課長 村田秀明 生涯学習課長 山本義孝 歴史文化館長 内野江梨子 袋井図書館長 山本 浩 教育企画課長補佐 小池信良 教育企画課主幹 近藤多佳臣 教育企画課主幹 深谷初女 すこやか子ども課主幹 北出 崇 教育企画課幼小中一貫教育推進室主任主査 (計：15人) (合計：19人)
会議に付した 事件	別紙「令和3年4月 袋井市教育委員会定例会 議事日程」の とおり

令和3年4月 袋井市教育委員会定例会 日程

日時：令和3年4月27日(火)

午前9時00分開会

場所：教育会館 3階ICT研修室

会 議 日 程

日程第1 開 会

日程第2 会議録署名委員の指名

日程第3 会議録の承認

日程第4 教育長報告

日程第5 教育部月例事業報告

日程第6 議 事（会議に付すべき事件）

（1）報告事項

報第22号	令和3年度保育所等利用待機児童数について
報第23号	令和3年度放課後児童クラブ利用待機児童数について
報第24号	袋井市立学校、幼稚園等の防火管理者の解任又は任命について
報第25号	袋井市立学校、幼稚園等の衛生推進者の解任又は任命について
報第26号	袋井市立小中学校衛生委員会委員の委嘱又は任命について
報第27号	学校医等の解嘱又は委嘱について
報第28号	袋井市笠原児童館運営協議会委員の委嘱又は任命について
報第29号	袋井市子ども・子育て会議委員の解嘱又は委嘱について
報第30号	袋井市立保育所嘱託医の委嘱について
報第31号	袋井市立認定こども園医等の委嘱について
報第32号	袋井市立小中学校運営協議会委員の委嘱又は任命について
報第33号	袋井市社会教育委員の委嘱又は任命について
報第34号	袋井市青少年問題協議会委員の委嘱又は任命について
報第35号	袋井市文化財保護審議会委員の委嘱又は任命について
報第36号	袋井市立図書館協議会委員の委嘱又は任命について
報第37号	寄附品の受納について

日程第7 意見交換

幼小中一貫教育について

日程第8 その他

(1) 連絡事項

ア 袋井市学校給食調理・配送等業務等受託者の決定について

イ Enjoy2021(月見の里学遊館年間プログラム)

ウ 袋井市立図書館だより「ふくぶっく」令和3年5月号

(2) 次回定例会等の予定について

5月教育委員会定例会 5月28日(金)午後1時30分～ 教育会館 3階ICT研修室

(3) その他

日程第9 閉会

1 開会

●鈴木教育長

ただ今から、令和3年4月袋井市教育委員会定例会を開会いたします。

議事がスムーズに進行できますよう、御協力をお願いいたします。

2 会議録署名委員の指名

●鈴木教育長

袋井市教育委員会会議規則第16条第2項の規定に基づき、瀬川委員及び鈴木委員を指名いたします。

3 会議録の承認

●鈴木教育長

3月定例会の会議録について承認されています。

4 教育長の報告

●主な報告事項

市長、市議会議員交代に伴う会議等

その他は資料のとおり

5 教育部月例事業報告

●教育企画課

・就学前教育推進会議

(4月13日)

●おいしい給食課

- ・食物アレルギー対応委員会（事前審査会）（4月22日）
- ・食物アレルギー対応委員会（4月27日）
- ・食物アレルギー研修会（教職員向け）（4月28日）
- ・袋井市立学校給食センター運営協議会（5月26日）
- ・新人議員試食会（5月27日）

●学校教育課

- ・令和2年度学校関係職員離任式（3月26日）
- ・新規採用教職員及び任期付教員受入式（4月1日）
- ・令和3年度学校関係職員着任式（4月2日）
- ・定例校長会（4月12日）
- ・支援員研修会（4月14日）
- ・教頭・事務研修会（4月16日）
- ・袋井市情報教育推進委員会（4月19日）
- ・子どもを守る学校家庭地域連絡協議会（4月20日）

●すこやか子ども課

- ・保育所入所式（4月2日）
- ・幼稚園・認定こども園入園式（4月8日）
- ・定例園長会（定例校長会合同）（4月12日）
- ・保育所長会（小規模保育施設長合同）（4月16日）
- ・定例園長会（5月14日）

●育ちの森

- ・子ども支援室 きんもくせい2（園の計画訪問）（4月20日）
- ・子ども支援室 きんもくせい3・4（学校の計画訪問）（5月24日）
- ・早期療育支援センターはぐ茶会（保護者会）（5月19日）

●生涯学習課

- ・静岡理工科大学入学式（4月3日）
- ・第1回社会教育関係研修会（4月15日）
- ・第1回青少年健全育成会議（4月21日）
- ・補導員研修会（5月25日）

6 議事

【報告事項】

- (1) 報第22号 令和3年度保育所等利用待機児童数について

●すこやか子ども課長

本年4月1日現在の保育所等利用待機児童数については、昨年よりも31人減少して2人となりました。保育所等への申込者数は1,929人、前年比67人増ではありますが、うち保育所等に入所できた方が1,829人で、残る100人の方は入所できなかったということになります。この100人のうち、認可外保育所への入所が11人、幼稚園と預かり保育の利用が28人、育児休業中が9人、特定園のみ希望が50人で、合計98人が潜在的待機児童となりまして、これに待機児童の2人を合わせて100人となります。

昨年度は、令和3年4月1日に向けて、若草幼稚園と浅羽東幼稚園を認定こども園化して126人の定員増、それから、認可保育所1施設、徳光の「のびやかMIRAI保育園」で60人の定員増、小規模保育7施設で126人の定員増、合わせて民間で186人の定員を増やしていたが、合計して312人の定員増としました。昨年度の定員が1,662人でしたので、本年4月1日現在では、1,974人の定員となっております。

次に、今後の対応についてですが、待機児童は2人ではありますが、潜在的待機児童がまだ98人おりますので、さらなる利用定員の拡大に努めて、待機児童ゼロを目指していきたいと思っております。令和4年4月に向けて今年度実施することですが、山梨幼稚園をこども園化して利用定員を87人増、若葉幼稚園も同様に利用定員を30人増やします。山梨幼稚園は0～5歳、若葉幼稚園は3～5歳の認定こども園に移行していく予定です。また、上田町グラウンドに整備中の「子育てセンターにじいろ」については、既存3園を統合し、天竜厚生会により施設整備をしていただきますが、その整備支援を行ってまいります。小規模保育施設の新設の検討については、現在、民間からの施設整備の要望が1件寄せられておりますが、現時点で小規模保育施設に空きが相当数あることから、過剰整備にならないよう、その必要性について検討し、必要と判断した場合は、補正予算で対応してまいりたいと思っております。

2ページ目につきましては、参考のデータとなりますが、一番上の表が乳幼児人口の推移であります。令和3年4月の0歳児をご覧ください。こちらの671人が昨年度1年間の出生数となります。対前年比で55人減っていますが、これは新型コロナウイルスの影響が大きいのではないかと推察しております。また、0～2歳児の小計では対前年比160人減、3～5歳児の小計では対前年比41人減、合計で対前年比201人の減となっております。この表中の一番下に、幼稚園の入園率がありますが、今年の数字が56%で対前年比1.3%減、保育所入所率が39.4%で対前年比5.3%増ということで、この表からも、幼稚園の入園希望者が減少し、保育所へのニーズが高まっていることが伺えます。

次に、真ん中の表につきましては、保育所等申込者数の推移で、令和3年4月は1,929人の申込があり、対前年比67人の増でありました。

最後に、一番下の表は、認可保育施設の定員数の推移で、先ほど申し上げた 1,974 人が令和 3 年 4 月 1 日現在の定員数で、対前年比 312 人増といたしました。

[質疑・意見]

●上原委員

潜在的待機児童数というのは、一般人にはわかりにくいところですが、潜在的待機の理由として、ランク分けや重要度の違いなどがあるのでしょうか。

●すこやか子ども課長

国が定義している潜在的待機となる児童の項目については、認可外保育所への入所、幼稚園と預かり保育の利用、育休中、特定園のみ希望といった部類に項目が分けられております。それらによる重要度やランク分けはなく、区分だけが定められているという状況です。

●上原委員

国が決めた区分ということですが、乳幼児の保育や療育といった部分で、例えば、こういう条件をお持ちであればこちらが向いていますよとか、こちらの方がより有効ですよというような情報提供などはしないのですか。

●すこやか子ども課長

一次調整で待機となった方で、例えばパートなど就労時間が若干短い方は、利用調整指数の点数が低くなり待機になる可能性が高くなりますので、幼稚園と預かり保育でも十分に対応が可能として案内をしています。また、認可外保育所についても、小山の「ひよこ幼稚園」と、月見町の「ひだまり」という 2ヶ所の認証保育所がありまして、常に空きがある状態ですので、そちらも案内しています。こちらは認可保育施設と保育料に大きな違いはなく、特に 3～5 歳は無償化になっておりますので、そういった案内もしております。また、企業主導型保育で「愛ノ宮保育園」などは、160 人定員のうち 80 人の地域枠がありますので、そちらのご案内もさせていただいております。

(2) 報第 23 号 令和 3 年度放課後児童クラブ利用待機児童数について

●すこやか子ども課長

本件については、現在、放課後児童クラブが全部で 12 小学校区 21 クラブあり、12 クラブが育成会など地域のなかでの運営、9 クラブが NPO 法人での運営であります。そのうち待機児童が発生しているところを報告します。

まず、袋井南小学校区では、夏休み等の長期のみ利用が7人、常時利用が9人、計16人が待機となっております。こちらは、受入定員が昨年度の184人から今年度は166人と減っています。従来は1テーブル5～6人向かい合わせで座っていたところを、3密を回避するため、1テーブル最大3人まで全員同じ方向を向いて座るように変更したことから、定員が減っております。また、場所の問題とは別に、支援員と補助員がそれぞれ2人ずつ程度不足しているという問題があり、場所については、長期休業中の夏休み等は、学校施設を借りられるよう袋井南小学校との協議を継続しております。また、人材については、幼稚園の支援員や現在の支援員からの情報提供などにより、補助員を数人確保しましたが、支援員は確保できていない状況にあります。

次に、袋井北小学校区では、長期のみ利用での待機が1人出ております。こちらにつきましては、1人ですので、調整して入所させていただけるようクラブの方と交渉を行っております。

次に、今井小学校区でも、長期での待機が3人出ております。現在、学校施設を借用して運営していますが、その隣の部屋が図書室であるため、長期休業中のみ、図書室も借用させていただきたいということで、今井小学校との協議を進めております。

それから、山名小学校区ですが、こちらは17人の長期と5人の常時、合計22人の待機が出ております。こちらは、袋井南小と同様に場所と人材についての課題がありますが、場所については、昨年度から、多目的室として使っていた「ひまわりホール」を借用して、4番目のクラブを立ち上げたところですが、それでも不足するというので、本年度は、3階の旧パソコン室を借用して、32人を長期で受け入れていただけるようになりました。それでもまだ17人の長期の受入ができていないという状態になっておりますので、もう1部屋、特別教室等の借用についての協議を山名小学校と行っていきます。あわせて、場所が分かると人材が足りなくなることから、支援員と補助員がそれぞれ2人ずつ程度足りなくなりました。追加募集により補助員は2人確保できたのですが、支援員がまだ足りていない状況であります。

これらを合計すると、長期のみ利用で28人、常時利用で14人、合計42人の待機が発生しております。この解決策としまして、人材については、補助員等が必要になることから、静岡理工科大学、常葉大学、浜松短期大学、静岡産業大学等の学生に、アルバイト等での協力が得られるかということをお打診したいと思います。場所については、引き続き学校施設の借用を学校側と協議してまいります。また、人材確保の面では、処遇改善、賃金増も必要と考えており、現在、常勤で資格ありが時給1,050円、資格なしが910円、パートで資格ありが900円、資格なしが890円となっており、民間よりも時給単価が約100円程度低い状況であります。

ますので、3年に1回程度、保護者の負担金を上げるなどして、賃金の処遇改善も図ってまいりたいと考えております。それともう1点は、民間への事業委託ということも検討が必要な時期に来ていると考えております。

[質疑・意見]

●瀬川委員

民間への委託とありましたが、委託先はどのようなところになるのですか。

●すこやか子ども課長

掛川市や浜松市では、「シダックス」が入っておりまして、シダックスに話を聞きますと、全国で1,400箇所位の実績があるとのこと。近いうちに掛川市等に、どんな運営をしているのか、どうやって人材を確保しているのか、また経費の面でも若干割高になると思いますので、そのあたりをリサーチしたいと考えております。

それから、つい最近も東京、神奈川、千葉あたりで事業展開をしている「あしたば」という業者から営業がありましたが、このようなところからも情報を得たいと思います。こちらについても、箇所数がパッと出ないのですが、多くの運営実績がある業者になります。

以前に、浜松市で民間事業者が、人材が確保できなくてクラブを急遽閉鎖したという記事が新聞に出ていました。もし、民間導入をすとなれば、そういう事態にならないよう、プロポーザル方式でプレゼンをしてもらい、運営実績と学童保育の質を見極めて業者を決める必要があると考えています。

●鈴木教育長

補助員は特に資格が必要ないのですが、支援員は実務経験が2,000時間以上なければ、支援員になるために必要な研修を受けられないということで、高いハードルがあります。市が独自で支援員を見つけようとしても、要件が厳しく見つからないという現状がありますので、全国的に人材が確保できる民間事業者への委託ということも選択肢の1つとして考えております。

●瀬川委員

大学生が長期の休みを利用して補助員などをやらしてもらえれば、本人の勉強にもなるし、いい経験になると思います。

●すこやか子ども課長

昨年は、5人が4日間の研修を受けて支援員の資格を取っています。学校や幼稚園の教職員OBの方なら2,000時間の縛りがなく、4日間の研修だけで支援員になれるのですが、そ

れ以外の方は、補助員として2年間働くというところに大きなハードルがあります。

- (3) 報第 24 号 袋井市立学校、幼稚園等の防火管理者の解任又は任命について
- (4) 報第 25 号 袋井市立学校、幼稚園等の衛生推進者の解任又は委嘱について
- (5) 報第 26 号 袋井市立小中学校衛生委員会委員の委嘱又は任命について
- (6) 報第 27 号 学校医等の解嘱又は委嘱について
- (7) 報第 28 号 袋井市笠原児童館運営協議会委員の委嘱又は任命について
- (8) 報第 29 号 袋井市子ども・子育て会議委員の解嘱又は委嘱について
- (9) 報第 30 号 袋井市立保育所嘱託医の委嘱について
- (10) 報第 31 号 袋井市立認定こども園医等の委嘱について
- (11) 報第 32 号 袋井市小中学校運営協議会委員の委嘱又は任命について
- (12) 報第 33 号 袋井市社会教育委員の委嘱又は任命について
- (13) 報第 34 号 袋井市青少年問題協議会委員の委嘱又は任命について
- (14) 報第 35 号 袋井市文化財保護審議会委員の委嘱又は任命について
- (15) 報第 36 号 袋井市立図書館協議会委員の委嘱又は任命について

●鈴木教育長

次に、各種協議会委員の任命等について、報第 24 号から報第 36 号まで一括で報告をお願いします。

●教育企画課長

報第 24 号から報第 36 号までの 13 件の報告案件については、教育委員会に権限がある法令に基づく各種委員等に関する人事案件でありますので、一括で報告いたします。

この 13 件の各種委員会や協議会等の委員等については、令和 3 年 4 月 1 日付け、市や県職員、学校職員の人事異動に伴うものや、こども園化による園の名称変更に伴うもの、また、PTA や子ども会等各種団体の役員や、自治会連合会等、地域の代表者の変更等に伴い、各委員等の解任又は委嘱、任命を行うものであります。

[質疑・意見]

なし

- (16) 報第 37 号 寄附品の受納について

●すこやか子ども課長

本件について、寄付者は袋井地区労働者福祉協議会、寄付物件は児童用図書 34 冊となりまして、放課後児童クラブ、全 21 クラブに寄附をいただきました。保護者の就労支援のために放課後児童クラブで活用してほしいとの理由であります。寄付物件の金額は、1 クラブ 2,000 円、21 クラブ概ね 42,000 円ほどで、寄付者の袋井市労働者福祉協議会からは、平成 22 年度より 2 年ごとに寄付があり、平成 30 年度までに 18 万 1,000 円、今回分を含めて累計で 22 万 3,000 円ほどの寄付をいただいております。

[質疑・意見]

●上原委員

袋井地区労働者福祉協議会は、どのような事業や活動をされているのですか。

●鈴木教育長

こちらは、各労働組合の枠を超えて、雇用されている方々の福利厚生等を行っている協議会で静岡県労働者福祉協議会の袋井支部となります。主な活動としては「労福協まつり」などのイベントを開催されています。

●鈴木教育長

報告事項については以上となります。

7 意見交換

幼小中一貫教育について

[主な意見]

- ・統括校長を務める中学校の校長先生の理解があり、意識が高い学園は、取り組みが充実していると感じる。
- ・全面実施から 1 年が経過し、それぞれの学園で課題が明確になってきたと思う。仕組みづくりから前進し、先生同士が自分の学園の子どもたちに何が必要なのかを話し合う段階へと移行してほしい。
- ・学園ごとの特色や雰囲気が市民に伝わるのが理想であるが、まだ学園の名称も浸透していない現状であり、情報発信は強化する必要がある。
- ・現在保育園の半分程度は私立園である。私立園が持つ課題の解決を考える際に、市の幼児教育アドバイザーから私立園側に幼小中一貫教育の利点等を説明し、理解してもらうところから広げていく。
- ・幼小中一貫教育が袋井市の教育の魅力となり、袋井市で教えたいという先生が増えてく

れたらうれしい。

- ・幼小中一貫教育を、子ども1人ひとりの連続的な成長の過程を大切に育むという意味で捉えていくことが必要である。
- ・一貫教育について、教員目線、保護者目線で考えている部分が多いが、子どもの目線から考えることが大切ではないか。

8 その他

(1) 連絡事項

ア 袋井市学校給食調理・配送等業務等受託者の決定について

イ Enjoy2021(月見の里学遊館年間プログラム)

ウ 袋井市立図書館だより「ふくぶっく」令和3年5月号

(2) 次回定例会等の予定について

5月教育委員会定例会 5月28日(金)午後1時30分～ 教育会館 3階ICT研修室

(3) その他

9 閉会

(午前11時00分閉会)